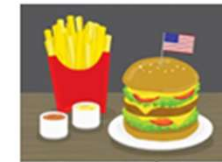


食育実践優良法人とは？

今回、名給が取得した「**食育実践優良法人**」
についてご紹介いたします。

昨今、欧米化した食事に変化したことや、朝食欠食の増加、簡便志向の高まり、魚離れや野菜類・果実類の摂取減少など、食生活の乱れが生活習慣病の増加、肥満の増加、集中力の低下・代謝低下などにつながっていくといわれています。



食の欧米化



簡便志向



朝食欠食



野菜類
果物類の摂取減少



魚離れ

さらには、
○忙しさによる調理時間の短縮

○食事時間の減少

○食文化の変化

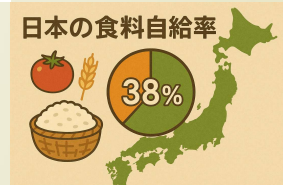
○家庭環境の変化

○食品ロス

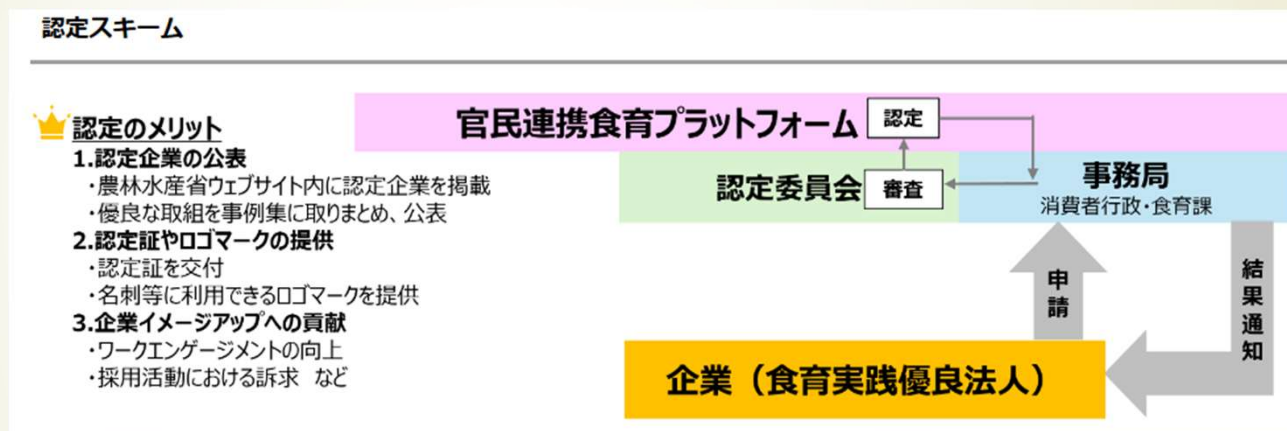
○食料自給率低下

などの社会問題が社会的背景としても食の乱れの原因ともいわれています。

- ▶ このような背景により「大人の食生活」の乱れが顕在化している中、「**大人の食育**」が重要視されつつあります。



- このたび、農林水産省が従業員に対しての、健康的な食事の提供、食生活の改善を資する取り組みとその評価を行っている法人を「食育実践優良法人」として認定し、法人内の活力向上及び優良な取り組みの横展開を図る目的として、「食育実践優良法人顕彰制度」が実施されました。



農林水産省 食育実践優良法人2026の公表について。より

今、名給にできることは、従業員の皆様が会社にて多くの時間を過ごす中、少しでも食生活の改善を共に共有し、「食の大切さ」、「食の楽しさ」を知るきっかけを作ることが出来ればと考えます。

この認定制度を統括する「官民連携食育プラットフォーム」の掲げる理念は

▶ 生活の改善に向けた効果的なアプローチ

(* 場内での食生活の改善の取り組みの活性化を図る。)

▶ 働き盛り世代」への食育の推進

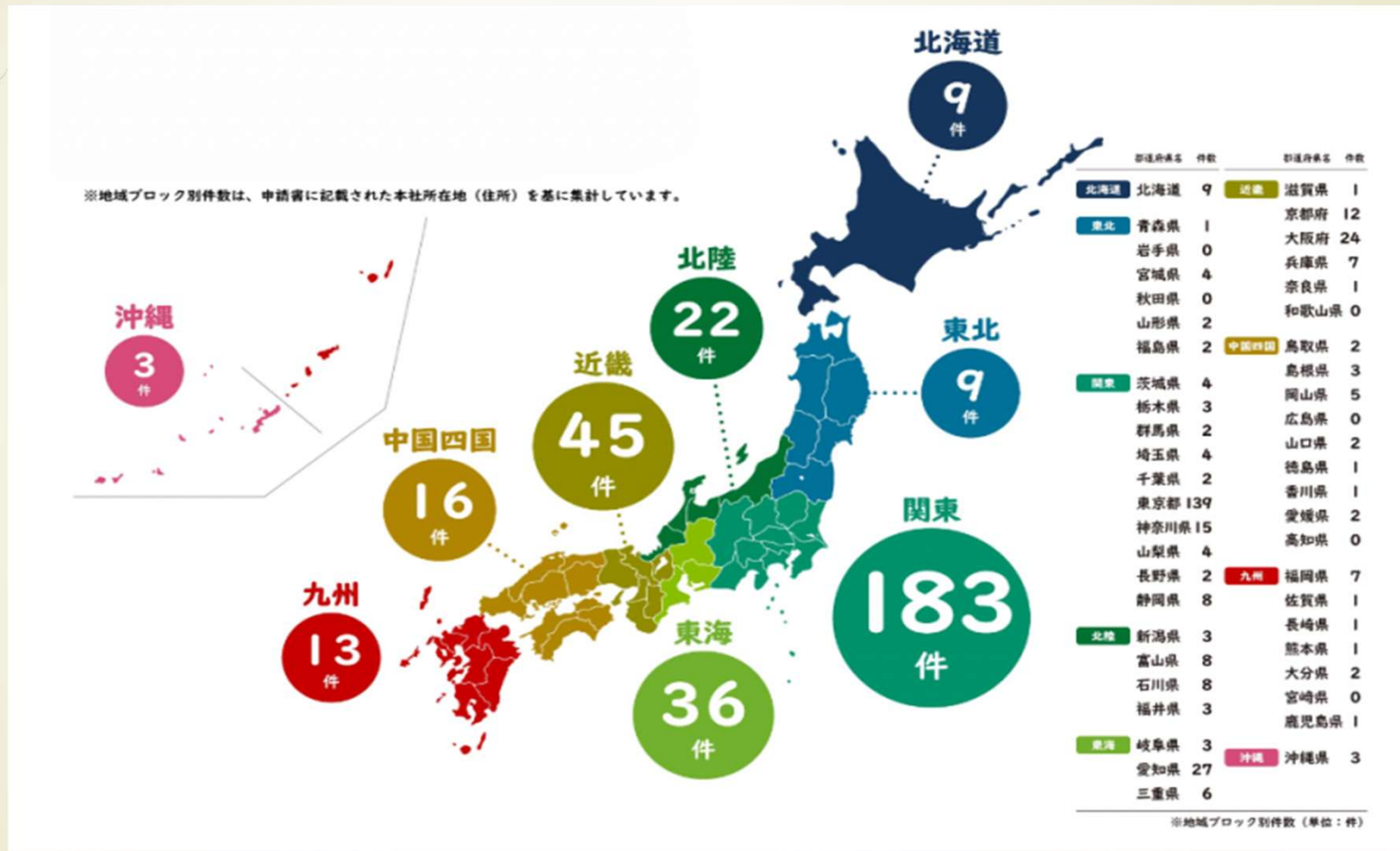
(* 優良な取り組みの横展開を通じて、より多くの企業が従業員等の健康に配慮した食生活の実践に取り組むようになる。)

▶ 「食育」マーケットの創出による「大人の食育」の気運醸成

(* 官民が連携して本制度を普及することにより、食育が（子供だけでなく）大人こそ必要といったイメージを訴求できれば「**大人の食育**」の気運醸成が期待できる。)

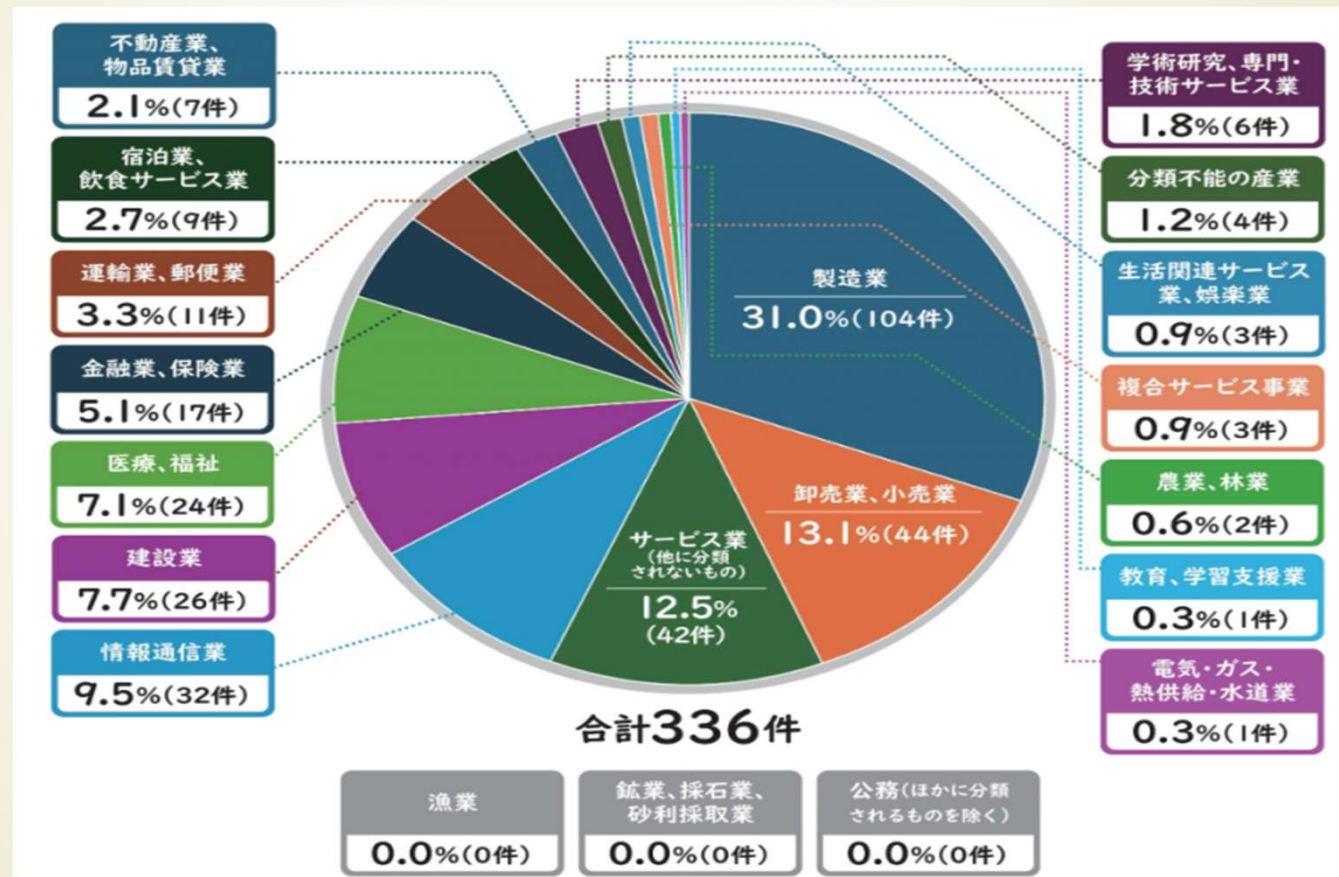
に同感し、申請、認証という運びになりました。

初年度の2026年度の認定は333法人は



農林水産省 食育実践優良法人2026の公表についてより

業種別の割合は



農林水産省 食育実践優良法人2026の公表についてより

名給の取り組み

- 定期的に「企画展示会」などのイベントを開催。「メニュー」の新しい捉え方を発見できる情報提案型の展示会で、毎回テーマを設定し、新しい食のトレンドを発信しています。



食品や食材、メニューなど、

食に関わる最新の流行を発信する情報誌「**かぼちゃ通信**」を自社で刊行しています。

「**かぼちゃ通信**」は旬の情報やブームを取り上げる他、最新のメーカー商品も併せて紹介し情報を発信しています。



弊社が掲げる経営理念、

「食文化に貢献し、食生活の改善に寄与する」

を胸に、強く歩みを進めてまいります！

次を想像し、さあ、もっと先へ！！

